

令和7年度

評価規準表

(1年生)



新潟市立宮浦中学校

はじめに

令和7年度の「評価規準表」を配布します。生徒一人一人が「何を」「どの程度」身に付けているかをお知らせするための「もと」になるものです。

評価規準

「〇〇がわかる」「□□ができる」など「具体的に何を」という、質的な目標基準です。

評価基準

「どの程度できるか」という量的な到達基準。区切り（カッティングポイント）のことです。

準 拠

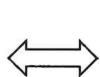
「何を 基にして」評価するかを表しています。

1 目標に準拠した評価と評定

学習状況の評価・評定は、より多くの生徒が意欲をもち続けて学習に取り組むように目標に準拠した評価（絶対評価）をしています。

参考までに目標に準拠した評価の「よさ」を集団準拠の評価と比較してみます。

◇集団準拠の評価（相対評価）
学習状況が学年や学級などの集団の中で、どの程度かということを評価する。

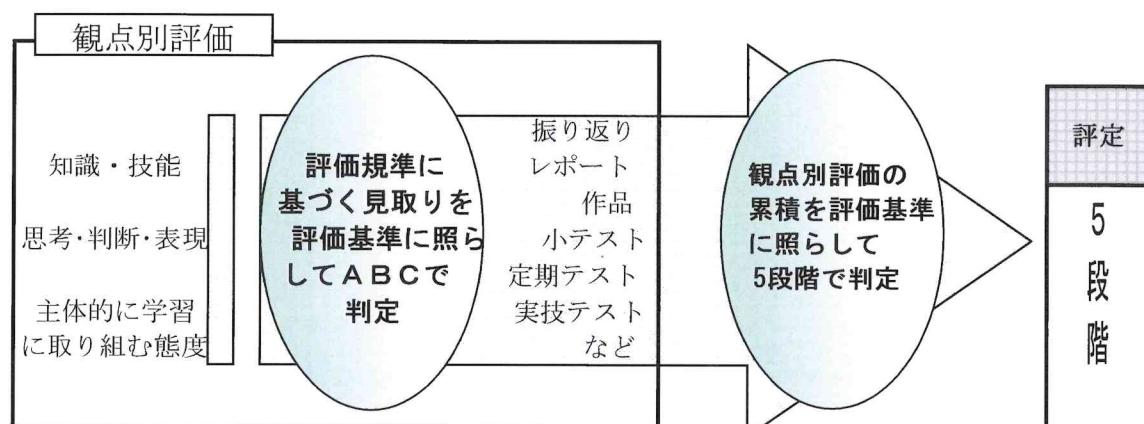


◇目標準拠の評価（絶対評価）
学習状況が各教科の目標・内容に照らして、どの程度かという学習の習熟度や達成度を評価する。

- 他の生徒との比較なので、その子の進歩の様子を捉えにくい。
- 生徒が少ないと相対的な位置付けでは信頼性を保てない。

- 学習内容がどの程度まで身についているかがわかる。
- 自分の努力次第で成績が向上するので意欲が継続しやすい。

目標に準拠した評価では、学習目標を3つの観点から評価します。それを「観点別評価」といいます。「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」を基本とする3観点から、各観点の達成度を評価します。基礎的・基本的な内容を確実に習得させ、自ら学び考える力を育む教育を目指します。



そのためには【何を】身に付けるのかを表す評価規準が必要になります。学習目標を3観点から評価するため、評価規準には評価の対象や内容が明確に記載されています。

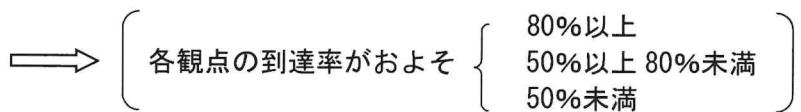
また、【どの程度】身に付けたのかを表す評価基準が必要になりますし、判定のよりどころがカッティングポイントになります。

観点別評価を

A(十分満足できる)

B(おおむね満足できる)

C(努力を要する)



の3段階で行うとき、1年間の学習状況を下の5段階で評定するときの判定材料に活用します。

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 5(十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの) | …達成率平均値がおよそ90%以上 |
| 4(十分満足できると判断されるもの) | …達成率平均値がおよそ80%以上～90%未満 |
| 3(おおむね満足できると判断されるもの) | …達成率平均値がおよそ50%以上～80%未満 |
| 2(努力を要すると判断されるもの) | …達成率平均値がおよそ25%以上～50%未満 |
| 1(一層努力を要すると判断されるもの) | …達成率平均値がおよそ25%未満 |

※ 観点別評価の到達率と評定のカッティングポイントは全教科共通です。

※ 5段階評定算出のための観点の重み付けはなく、1:1:1です。

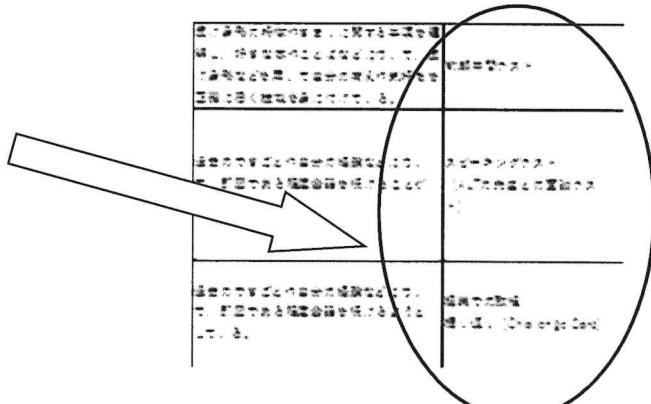
観点別評価が「A A A」であっても、到達率の平均値が90%に満たない時は、5段階評定が「4」になることもあります。また、「A B A」でも、達成率の平均値が90%以上ならば「5」になることもあります。

2 定期テストについて

目標に準拠した評価（絶対評価）の場面の一つとして定期テストがあります。当校では定期テストを年4回、6月、9月、11月、2月に実施しています。国語、社会、数学、理科、英語、保健体育の6教科（期末テストは技術・家庭が加わります）が対象で、2日間で実施します。100点満点で点数を算出します。また、定期テストの性質については、次のようにとらえています。

- ① 評価規準に照らして問題を作成します。学習内容がどこまで定着し、何ができるないかという自分の学習状況を知ることを目的として出題、作成します。
- ② 定期テストのみが評価・評定をする上で大きなウエイトを占めることのないようにし、他の評価方法と併用した形で評価を行います。他の評価方法とは、学習内容の区切りのよいところで『まとめテスト』（単元テスト）を行ったり、調べ学習や観察・実験などで『まとめレポート』を書いていたり、実技テスト（パフォーマンス課題）を行ったり、振り返りシートの記入内容状況を確認したりします。

具体的なものは評価規準表の「評価資料」に記載しています。



- ③ 定期テストを通して、「テストを頑張る！」「自分の力がどの程度身についたか知ることができます」という学習意欲を喚起し、1～2週間の集中した学習習慣の形成を図るようにします。
- ④ 評価規準項目に照らし合わせて、自分の苦手な項目や定着が不十分な項目を知るとともに、長期休業中の課題や特別学習会等を活用して、不十分な点を補充していくようにします。定期テストへの基本的な考え方は①から③のとおりですが、近年の高校入試で学力検査への比重が高まる傾向があり、生徒や保護者から「順位」という相対的に位置を知りたいという希望や、「順位が出ると励みになる」という生徒の声があります。そこで5教科合計の順位に限り生徒からの申し出があれば口頭で伝えるようにします。順位や平均点、度数分布表を確認することで校内での相対的な自分の位置を知ることができます。

3 評価・評定の通知について

【通知方法】通知表により評価・評定を通知します。

【通知表の目的】

学校が生徒の学習状況や生活の状況について保護者に伝え、生徒の現状について理解を共通にして、相互に協力しながら目標に向かって生徒を育てるためのものです。

つまり、学校と家庭との架け橋であり、保護者と生徒との架け橋です。生徒の頑張りや特長、成長ぶりを認め、自信を与えるとともに、より一層の成長のために努力を促すためのものと考えています。

【通知回数と時期】

学習状況については、各教科3観点に「どのような力が必要なのか」をまとめた形で通知表に記載します。どのような部分を見て観点をついているかについては、本誌の評価規準表を参考にしてください。評価・評定の通知は年2回（前期末・後期末）お知らせします。

今年度も当校では、評価規準項目、カッティングポイント（評価基準）、評定への総括の仕方、観点別ABCと5段階評定との関連などの評価について研修を積み重ね、より客觀性・妥當性・信頼性のある評価を目指していきます。

国語

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
1 学びをひらく ○野原はうたう(詩) ○はじまりの風(物語) ○情報整理のレッスン 比較・分類 ○話の構成を工夫しよう ○漢字①漢字の組み立てと部首	知・技	・題名や描写を手がかりに、主人公の気持ちや生き方の変化を捉えている。	定期テスト
	思・判・表	・題名や描写を手がかりに、主人公の気持ちや生き方の変化を捉えている。	定期テスト 音読評価
	主	・場面の転換に着目することで、物語からどのようなことが捉えられたか、自分の言葉で振り返ろうとしている。	観察・振り返り
2 新しい視点で ○ダイコンは大きな根?(説明文) ○ちょっと立ち止まって(説明文) ○思考のレッスン① 意見と根拠 ○情報を整理して説明しよう ○文法への扉① ○情報社会を生きる	知・技	・言葉のまとまりを理解している。	定期テスト
	思・判・表	・段落の役割に着目して読み、筆者の主張の要旨を捉えている。	定期テスト ワークシート
	主	・言葉や図・表などを結びつけて情報を読み取るときに大切なことを自分の言葉で振り返ろうとしている。	観察・振り返り
3 言葉に立ち止まる ○空の詩 三編 ○比喩で広がる言葉の世界 ○語彙を豊かに ○情報収集の達人になろう ○言葉③ さまざまな表現技法 ○言葉① 指示する語句と接続する語句	知・技	・指示語と接続語を理解している。	定期テスト
	思・判・表	・文脈中の語句の意味を捉え、情景をつかむことができている。 ・文章を読み、ものの見方や考え方を広げることができている。	定期テスト 音読評価
	主	・比喩の意味を理解することで、詩の解釈を深めることができている。	観察・振り返り
4 心の動き ○星の花が降るころに(物語) ○大人になれなかつた弟たちに…(物語) ○言葉② 方言と共通語 ○漢字② 漢字の音訓	知・技	・漢字の音と訓を理解している。	定期テスト
	思・判・表	・場面の展開に着目して人物の変化を読み取っている。 ・人物の行動や情景描写から心情を読み取っている。	定期テスト 作文評価
	主	・情景に着目することで登場人物の心情を深く理解しようとしている。	観察・振り返り
5 筋道を立てて ○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(説明文) ○思考のレッスン① 意見と根拠 ○根拠を示して説明しよう(書く) ○話題や展開を捉えて話し合おう	知・技	・原因と結果、根拠と意見の関係を理解している。	定期テスト
	思・判・表	・根拠を明確にして相手に伝えることができている。	観察評価・自己評価 スピーチ評価
	主	・考えたことを説得力のある文章にまとめるようとしている。	観察・振り返り
6 いにしえの心に触れる ○いろは歌(古文・音読) ○蓬莱の玉の枝「竹取物語から」(古文) ○今に生きる言葉(漢文) ○書写 座右の銘を書こう	知・技	・全体のバランスと点画に気をつけて習字作品を書くことができる。 ・歴史的仮名遣いや古語の意味、表現方法を理解することができる。	定期テスト
	思・判・表	・歴史的仮名遣いや古文のリズムを知り、古文に親しんでいる。 ・漢文のリズムを知り、漢文に親しんでいる。	音読評価
	主	・現代にも古典の考え方や言葉が生き続けていることを理解し、身の回りにある「古典」を見つめ直そうとしている。	観察・振り返り
7 値値を見いだす ○「不便」の価値を見つめ直す ○助言を自分の文章に生かそう ○思考のレッスン② 原因と結果 ○文法への扉② 言葉の関係を考えよう	知・技	・語句と語句の関係を理解している。	定期テスト
	思・判・表	・文章の要旨を捉えている。 ・自分の考えを持っている。	定期テスト ワークシート
	主	・固定観念にとらわれず、自分の言葉で価値のあるものを見つめ直そうとしている。	観察・振り返り
8 自分を見つめる ○少年の日の思い出(小説) ○二十歳になった日(隨筆) ○漢字③ 漢字の成り立ち ○文法への扉③ 単語の性質を見つけよう ○漢字の総復習	知・技	・常用漢字の総まとめとして、漢字の意味や読み方などを理解している。 ・自立語・付属語、活用する・活用しないなどの特徴を踏まえ、品詞を整理して理解している。	定期テスト
	思・判・表	・場面の展開に沿って、登場人物の心情変化を捉えている。 ・登場人物の言動に対する自分の考えをもっている。	定期テスト 作文評価
	主	・別の登場人物の視点から読み直すことで、自分の考え方や作品の印象はどう変わったのか、自分の言葉で理解しようとしている。	観察・振り返り

社会

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
世界と日本の姿	知・技	大陸と海洋の形状や分布、またおもな国々の名称と位置の知識を身に付け、知識を身に付けています。また、世界的な視野から日本の領域の特色と変化を理解している。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	世界の地域構成について、大陸と海洋の分布、地域区分を基に考察し、それをレポートなどで適切に表現している。また、日本の位置と領域の特色を、世界的な視野から多面的・多角的に考察し、適切に表現している。	定期テスト・レポート
	主	世界の国々に対して関心を高め、その特色を主体的に追究している。また、日本の国土に対する関心を高め、日本の位置と領域、都道府県の構成主体的に追究し、日本の地域構成を大まかにとらえようとしている。	振り返りシート・課題提出他
歴史へのとびら 古代までの日本	知・技	歴史をとらえる見方・考え方を身に付けるとともに、日本列島における人々の生活の変化、古代国家の形成のあらましについて、東アジアを中心とした世界の歴史を背景に理解し、その知識を身に付けています。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	古代文明の特色や宗教のおこり、日本列島における人々の生活の変化について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期テスト・レポート
	主	世界の古代文明や宗教のおこりへの関心を高め、古代までの日本の大きな流れについて主体的に追究しようとしている。	振り返りシート・課題提出他
世界のさまざまな地域	知・技	世界各地の多様な生活や文化、自然環境などについて、地球儀や世界地図を用いて示すことができる知識を身に付けています。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	自然的条件、社会的条件と関連付けた人々の生活の様子とその変容を基に自分たちの生活と比較しながら考察し、その過程と結果を表現している。	定期テスト・レポート
	主	世界各地の人々の生活と環境の多様性について、自然的条件および社会的条件と関連づけて主体的に追究し、とらえようとしている。	振り返りシート・課題提出他
世界の諸地域	知・技	世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などについて概観し、その結果として基礎的・基本的な知識を身に付けています。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	世界の諸地域の地域的特色が、それぞれ世界的な視野から見てどのような地域的特色なのか、一般的共通性と地方的特殊性の視点から追究し、とらえている。	定期テスト・レポート
	主	世界の諸地域のさまざまな地理的事象を見いだし、地域的特色に対する関心を高めている。	振り返りシート・課題提出他
中世の日本	知・技	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長を、東アジア世界とのかかわりを背景に理解し、その知識を身に付けています。	定期テスト・小テスト
	思・判・表	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界とのかかわり、文化の特色などについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期テスト・レポート
	主	武家政権の成立と武家社会の発展、諸産業の発達と民衆の成長、東アジア世界との関わりに対する関心を高め、意欲的に学習している。	振り返りシート・課題提出他

数 学

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
第1章 正の数・負の数	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数の必要性と意味を理解することができる。 正の数と負の数の四則計算をすることができる。 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすることができる。 数の集合と四則計算の可能性を理解することができる。 自然数を素数の積として表すことができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 算数で学習した数の四則計算と関連づけて、正の数と負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。 正の数と負の数を具体的な場面で活用することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 正の数と負の数のよさに気づいて粘り強く考え、正の数と負の数について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、正の数と負の数を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート
第2章 文字の式	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることの必要性と意味を理解することができる。 文字を用いた式における積と商の表し方を理解することができる。 簡単な一次式の加法と減法の計算をすることができる。 数量の関係や法则などを文字を用いた等式や不等式に表すことができることを理解し、文字式を用いて表したり、文字式を読み取ったりすることができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な場面と関連づけて、一次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 文字を用いることのよさに気づいて粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート
第3章 方程式	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 方程式の必要性と意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解することができる。 簡単な方程式、比例式を解くことができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 等式の性質を基にして、方程式を解く方法を考察し表現することができる。 方程式、比例式を具体的な場面で活用することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 方程式のよさに気づいて粘り強く考え、方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、方程式を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート
第4章 変化と対応	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 関数関係の意味を理解することができる。 比例、反比例について理解することができる。 座標の意味を理解することができる。 比例、反比例の関係を表、式、グラフに表すことができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 比例、反比例として捉えられる2つの数量について、表、式、グラフを用いて調べ、それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。 比例、反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 比例、反比例のよさに気づいて粘り強く考え、比例、反比例について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、比例、反比例を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート
第5章 平面図形	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 平行移動、対称移動及び回転移動について理解することができる。 角の二等分線、線分の垂直二等分線、垂線などの基本的な作図の方法を理解することができる。 おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 図形の移動に着目し、2つの図形の関係について考察し表現することができる。 図形の性質に着目し、基本的な作図の方法を考察し表現することができる。 図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 平面図形の性質や関係を捉えることのよさに気づいて粘り強く考え、平面図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、作図や図形の移動を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート
第6章 空間図形	知・技	<ul style="list-style-type: none"> 空間における直線や平面の位置関係を理解することができる。 基本的な柱体や錐体、球の表面積と体積を求めることができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 立体を線分や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり、立体を平面上に表現して、平面上の表現から立体の性質を見いだしたりすることができる。 立体の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形の性質や関係を捉えることのよさに気づいて粘り強く考え、空間図形について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、空間図形の性質や関係を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート
第7章 データの活用	知・技	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解することができる。 コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。 多數の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	思・判・表	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてデータを收集して分析し、そのデータの分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断することができます。 多數の観察や多数回の試行の結果をもとにして、不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り、表現することができる。 	定期テスト, 単元テスト
	主	<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムや早退度数などのよさに気づいて粘り強く考え、データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、ヒストグラムや早退度数などを活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたり、多數の観察や多數回の試行によって得られる確率のよさに気づいて粘り強く考え、不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、多數の観察や多數回の試行によって得られる確率を活用した問題解決の過程をfurt返って検討しようとしたりすることができる。 	観察, レポート, ワーク, ノート

理科

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
動植物の分類	知・技	動植物の基本的なつくりとはたらきを理解し、植物や動物を分類する観点を説明できる。顕微鏡等の操作を理解し、動植物を観察することができる。	定期テスト・確認テスト 等
	思・判・表	動植物のつくりと分類について説明できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	身近な植物や動物に関心をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート 等
身のまわりの物質	知・技	身の回りの物質の性質について理解し、密度や質量パーセント濃度を計算することができる。実験器具等を正しく操作し、物質を取り出すことができる。	定期テスト・確認テスト 等
	思・判・表	物質の性質について理解し、説明できる。溶解度と再結晶について理解し、説明できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	身のまわりの物質に関心をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート 等
身のまわりの現象	知・技	身のまわりの現象の規則性・法則性を理解している。実験器具等を正しく操作し、正確に結果を記録したり正しくグラフに記入できる。	定期テスト・確認テスト 等
	思・判・表	実験を通して、光・音・力の規則性・法則性を見出すことができる。身の回りの光・音・力による現象を説明できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	身のまわりの現象に関心をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート 等
大地の活動	知・技	変動する大地（地震・火山・地層）についての現象を理解している。学習プリントを活用したり実験器具等を正しく操作し、岩石等の分類やスケッチを的確にできる。	定期テスト・確認テスト 等
	思・判・表	観察や映像により、地震・火山・地層のしくみを見出すことができる。地震・火山・地層の現象を説明できる。	定期テスト・確認テスト 観察・実験レポート等
	主	変動する大地（地震・火山・地層）に関心をもち、観察・実験に意欲的に取り組んでいる。 意欲的に発言したり、話し合ったりしながら、積極的に授業に取り組んでいる。	ワーク・ノート・振り返りシート 観察・実験レポート 等

英語

知・技… 知識・技能
思・判・表… 思考・判断・表現
主… 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	領域	評価規準	評価資料
LESSON 1 About Me ・be動詞(am / are) ・一般動詞 ・How many～?	知・技	【聞】	be動詞(am / are)と一般動詞(1・2人称)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それらを活用して話し手の趣味や好きなことについて話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。	前期中間テスト
	思・判・表	【書】	自分のことをよく知ってもらうために、自己紹介の短い英文を書くことができる。	
	主	【書】	自分のことをよく知ってもらうために、自己紹介の短い英文を書こうとしている。	
LESSON 2 My Hero ・助動詞can ・When～?	知・技	【書】	助動詞canの特徴やきまりに関する事項を理解し、自分や友達ができるこことやできないことについて、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	前期中間テスト
	思・判・表	【聞】	短く簡単なアンケートやインタビューを聞いて、重要な情報を聞き取ることができる。	
	主	【聞】	短く簡単なアンケートやインタビューを聞いて、重要な情報を聞き取ろうとしている。	
LESSON 3 My Treasure ・be動詞is ・疑問詞What / Who ・人称代名詞him / her ・命令文	知・技	【読】	三人称・単数・現在形の特徴やきまりに関する事項を理解し、身近な人物が何時に何をするかなどについて正確に書く技能を身に付けている。	前期期末テスト
	思・判・表	【話】 やりとり	お互いのことをよく知るために、自分の身近な人物について、即興で簡単な紹介をすることができる。	
	主	【話】 やりとり	お互いのことをよく知るために、自分の身近な人物について、即興で簡単な紹介をしようとしている。	
LESSON 4 My Summer Plans ・一般動詞過去形 ・want to～	知・技	【書】	一般動詞の過去形(went, ate, saw, enjoyed)やwant toへの意味や働きを理解し、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	前期期末テスト
	思・判・表	【話】 発表	ALTの先生に中学生が夏休みにしたいことを知ってもらうために、夏休みにしたいことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話している。	
	主	【話】 発表	ALTの先生に中学生が夏休みにしたいことを知ってもらうために、夏休みにしたいことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを話そうとしている。	
LESSON 5 Ms. Brown's Family ・三人称单数現在形	知・技	【書】	三人称・単数・現在形の特徴やきまりに関する事項を理解し、身近な人について、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	後期中間テスト
	思・判・表	【聞】	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容の詳細をたずねながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。	
	主	【聞】	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容の詳細をたずねながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしようとしている。	
LESSON 6 School Life in the U.S.A. ・現在進行形 ・Which～?	知・技	【書】	現在進行形の特徴やきまりに関する事項を理解し、学校生活について、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	後期中間テスト
	思・判・表	【話】 やりとり	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容について感想を伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。	
	主	【話】 やりとり	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、相手が話した内容について感想を伝えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしようとしている。	
LESSON 7 Athletes with Spirit ・一般動詞過去形	知・技	【読】	一般動詞(規則・不規則)の過去形の特徴やきまりに関する事項を理解し、事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けていく。	後期期末テスト
	思・判・表	【話】 発表	ロボット選手権に応募するために、自分で考えたロボットについて、特徴を明確にして、まとまりのある文章を書き、発表することができる。	
	主	【話】 発表	ロボット選手権に応募するために、自分で考えたロボットについて、特徴を明確にして、まとまりのある文章を書き、発表しようとしている。	
LESSON 8 Discover Japan ・be動詞の過去形 ・過去進行形	知・技	【聞】	be動詞の過去形と過去進行形の特徴やきまりに関する事項を理解し、それらを活用して事実や自分の考えなどを正確に書く技能を身に付けている。	後期期末テスト
	思・判・表	【読】	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、情報や説明をつけ加えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答したりしている。	
	主	【読】	話し相手と会話を続けてよりよい関係を築くために、情報や説明をつけ加えながら、トークテーマについて即興で伝え合ったり、質問に応答しようとしている。	
LESSON 9 Emergency Food ・未来形will ・未来形be going to	知・技	【聞】	助動詞willと予定を表すbe going to～の特徴やきまりに関する事項を理解し、春休みの予定について話された英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。	後期期末テスト
	思・判・表	【読】	筆者が伝えたいことをまとめるために、事実と筆者の考えに着目し、非常食について書かれたコラムを読んで、要点をとらえている。	
	主	【読】	筆者が伝えたいことをまとめるために、事実と筆者の考えに着目し、非常食について書かれたコラムを読んで、要点をとらえようとしている。	

音楽

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現力
 主 … 主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力

単元	観点	評価規準	評価資料
自然な声の出し方で 新しい仲間と歌おう 「校歌」「光の道」	知・技	音域に応じた発声、身体の使い方などの技能を身につけている。	演奏・ワークシート
	思・判・表	曲の雰囲気を感受しながら、歌唱表現を工夫している。	演奏・ワークシート
	主	音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に取り組んでいる。	活動の様子・ワークシート
弦楽器の豊かな響きを 鑑賞しよう 四季より「春」	知・技	曲想とソネットとの関わりについて理解している。	ワークシート
	思・判・表	「春」の音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えながら聴いている。	ワークシート
	主	「春」の曲想と音楽の構造やソネットとの関わり、弦楽器の音色や響きに関心をもち、主体的に学習に取り組んでいる。	学習の様子・ワークシート
曲の形式を生かして歌おう 「夏の思い出」「赤とんぼ」	知・技	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音などの技能を身についている。	演奏・ワークシート
	思・判・表	曲のリズム、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、表現を創意工夫している。	演奏・ワークシート
	主	歌唱表現に關わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	学習の様子・演奏
曲想を工夫しながら歌おう 宮浦祭「学級合唱曲」 思いを伝えよう 卒業式「全校合唱曲」	知・技	音楽の特徴と音楽の諸要素との関わりについて理解している。創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身についている。	演奏・ワークシート
	思・判・表	歌詞を解釈し、歌唱の表現方法を考えて創意工夫している。	演奏・ワークシート
	主	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに關心をもち、音楽活動を楽しみながら、学習に主体的・協働的に取り組んでいる。	活動の様子・演奏・ワークシート
物語と音楽 「魔王」	知・技	曲想と音楽の構造との関わりを理解する。	ワークシート
	思・判・表	旋律、強弱、音色を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えて聴くことができる。	学習の様子・ワークシート
	主	音楽の要素と曲想との関わりや、音楽の特徴に關心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組んでいる。	ワークシート
箏(orギター)の基本的な奏法 を 身につけよう	知・技	箏 (orギター) について知り、基本奏法を身につけて曲を演奏することができる。	演奏・ワークシート
	思・判・表	音色、旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、器楽表現を工夫している。	演奏・ワークシート
	主	箏 (orギター) の特徴や音色に關心をもち、学習に主体的に取り組んでいる。	学習の様子・ワークシート

美術

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
絵画 スケッチブックから広がる	知・技	ものの見方やとらえ方を理解し、描き方を工夫して表すことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	身近なもののよさや美しさを感じ取り、表したい考えを考えることができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	身近なものや自然を描くことに関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
デザイン 形と色の響き合い	知・技	形や色彩の組み合わせから生まれる効果などを理解し、色使いや筆使いを工夫して表すことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	形や色彩の造形的な特徴から発想を広げ、それらを組み合わせて表現の構想を練ったり、作品のよさや美しさを味わうことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	形や色彩の組み合わせから生まれる効果などに関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
デザイン 構成の美しさ	知・技	形や色彩などの特徴を理解し、意図に応じて単純化や繰り返しなどの表し方を工夫することができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	装飾の目的や、社会や文化とのかかわりから発想し、そのデザインのよさや美しさを味わうことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	構成の美しさや生活を豊かにする模様のデザインに関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
デザイン イメージを伝える形	知・技	ロゴタイプやさまざまなマークの機能や意図について理解し、わかりやすく伝える方法を工夫することができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート
	思・判・表	相手に伝える目的や機能をもとに、ロゴタイプやさまざまなマークを考えるとともに、そのよさや美しさを味わうことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
	主	身近なロゴタイプやさまざまなマークのデザインに関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	作品・アイディアスケッチ・ワークシート・観察評価・自己評価表・振り返り用紙
鑑賞	知・技	形や色彩、材料などの性質や効果などを理解し、作品の印象などをとらえることができる。	ワークシート・自己評価表・振り返り用紙・観察評価
	思・判・表	作品の造形的な美しさや作者の表現意図と工夫について考えながら鑑賞することができる。	ワークシート・自己評価表・振り返り用紙・観察評価
	主	作品のよさや美しさなどを新しい視点を探しながら感じ取り、見方や感じ方を粘りを粘り強く広げることができる。	ワークシート・自己評価表・振り返り用紙・観察評価

技 術

知・技 … 知識・技能
思・判・表 … 思考・判断・表現
主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
材料と加工の技術	知・技	製作するもの等角図で構想図、製作図をかくことができる。 工具を正しく使用し、材料を正確に加工、接合している。 材料の性質、工具の使用法など基本的な事項を理解している。	製作図、製作品 振り返り記録 定期テスト
	思・判・表	製作するものの機能や構造を工夫している。 製作の工程を計画し、効率よく進めている。	製作図、製作品 振り返り記録
	主	材料とその加工に必要な知識及び技術の習得し、課題解決に向けて考えようとしている。	製作図、製作品 振り返り記録

家 庭

知・技 … 知識・技能
思・判・表 … 思考・判断・表現
主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
自分の成長と家族・家庭生活	知・技	自分の成長と家庭生活との関わり、家族・家庭の基本的な機能、家族や地域の人々との協力・協働について気付いている。	ノート 振り返りシート
	主	自分の成長と家族・家庭生活について、課題解決に向けて考えようとしている。	ノート 振り返りシート
食生活と自立	知・技	安全や衛生に注意して調理することができる。 栄養素の働きがわかり、食品を6つの食品群に分類することができる。 加工食品の品質表示や生鮮食品の旬、食品の特徴がわかる。	ノート・定期テスト
	思・判・表	中学生の1日の献立を工夫することについて、問題を見いだし設定し、解決する力を身につけている。	ノート・ワークシート
	主	食生活について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 食生活について課題に向けた活動を振り返って改善しようとしている。	ノート・振り返りシート・ ワークシート

保健体育

知・技 … 知識・技能
 思・判・表 … 思考・判断・表現
 主 … 主体的に学習に取り組む態度

単元	観点	評価規準	評価資料
集団行動 体つくり運動	知・技	体つくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。	前期中間テスト 技能テスト
	思・判・表	自分の課題を発見し、課題解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えたことを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	体つくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとして、話し合いに参加しようとする。健康・安全に気を配っている。	振り返り 授業での取組
陸上競技	知・技	陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。各種目の特性に応じて基本技能を習得することができる。	前期中間・期末テスト 技能テスト
	思・判・表	自分や仲間の動きの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して行うことができ、考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	練習や記録会に積極的に取り組み、記録の向上や競争の楽しさを味わうことができる。ルールやマナーを守り、健康・安全に注意して学習することができる。分担した役割を責任を果たして学習している。	振り返り 授業での取組
水泳	知・技	水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。各泳法の手と足の動き、呼吸のバランスをとって泳ぐことができる。	前期期末テスト 技能テスト
	思・判・表	自分や仲間の動きの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して行うことができ、考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	練習や記録会に積極的に取り組み、技能の向上や競争の楽しさを味わうことができる。ルールやマナー、事故防止の心得を守り、健康・安全に注意している。分担した役割を責任を果たして学習している。	授業での取組 振り返り
器械運動	知・技	器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。技や発展技を行い、それらを組み合わせることができる。	後期中間・期末テスト 技能テスト
	思・判・表	自分や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	器械運動に積極的に取り組み、よい演技を認めようとしている。仲間の学習を援助しようとして、健康・安全に注意して学習している。	振り返り 授業での取組
球技	知・技	球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて理解している。各種目の特性に応じた攻防をすることができる。	後期中間・期末テスト 技能テスト
	思・判・表	技術や攻防などの自分や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自分や仲間の考えを他者に伝えている。	学習カード 授業での取組
	主	球技に積極的に取り組み、話し合いに参加している。仲間のプレイを認め、援助しようしたり、健康・安全に気を配って学習している。	振り返り 授業での取組
体育理論	知・技	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方、安全な行い方について理解できる。	前期中間・期末テスト
	思・判・表	運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。	授業での取組 振り返り
	主	運動やスポーツが多様であること、意義や効果と学び方についての学習に積極的に取り組んでいる。	授業での取組 振り返り

道徳の評価について

成長を振り返り、自分と向き合いながら、左記の「前期（後期）の授業を終えて…」を記載しましょう。

道徳の評価では、担任の先生がこのように蓄積されたみなさんの成長を確認しながら、文章で評価を行います。

道徳の評価は、担任の先生による文章での記述式評価です。評価は「宮浦ノート（道徳ノート）」でのみなさんが書いた内容をもとに行います。

よって、毎時間の授業での「まとめ」と「振り返り」をしっかりと記入しましょう。特に「振り返り」では、授業を鏡にして「これまでの自分」を見つめながら、自分自身のよりよい成長に向けて「これからの中の自分」について深く考え、しっかりと書きましょう。

道徳があった日の終学活や、翌日の朝読書の時間などを活用して、左記の「道徳授業の記録（自己評価）」も書いていきましょう。

前期・後期の終わりには自分の心の